



さべつ それ、コロナ差別

じゃないですか？

しんがた
～新型コロナウイルスのもう一つの恐怖～

ひと

きょうふ



しんがた
新型コロナウイルスは、人から人に感染します。

め
目には見えないウイルスに皆が恐怖し、不安になっています。ほかの人が感染している
かどうかわからないので、不確かな情報に惑わされ、ほかの人を疑い、敵とみなし、差
別をして、自分から遠ざけてしまう人がいます。はたして、それは本当に正しいことで
しょうか。きっと、みんな『感染したくない』と思っているのは同じはず。もっとも
大切なことは、一人ひとりがウイルスと闘うため、出来る予防（手洗いうがい、消毒、
マスク着用など）をすることではないでしょうか。

わるぎ
悪気がないから、差別をしてよいということは、決してありません。私たちは、社会
の一員として、自覚の有る無しに関わらず、ほかの人の立場や気持ちを考えた言動をし
ななければなりません。

じっさい

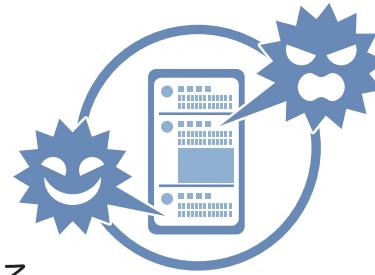
実際にこんな

さべつ

お

『差別』が起こっています！

- ・自宅に「コロナ出ていけ！」と嫌がらせの電話。
- ・家に石が投げこまれ、壁に落書きをされる。
- ・氏名と年齢が記載された貼紙が民家の壁などで見つかる。
- ・感染したことを会社に伝えると雇い止めをうけ、退職させられた。



しょくぎょう さべつ 職業差別も ...

- ・医療従事者や介護従事者の子どもへのいじめ、保育園(所)での預かりを拒否される。ほかの保護者から「保育園(所)に通わせないで」と言われる。
- ・病院職員が、店舗の予約拒否、タクシーの乗車拒否にあう。
- ・配達員が配達先で「コロナを運ぶな」と除菌スプレーをかけられる。
- ・医療従事者であることを理由に、身内の葬儀への参列を断られる。

わたし
私たちのために必死に闘っている医療従事者や
コロナ禍でも頑張っている配達員さんとその家族
を差別する社会って何だか悲しいな ...

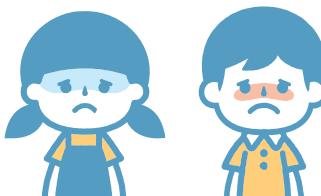


けんがい 県外ナンバー やお店への嫌がらせも ...

- ・他県から転勤により引っ越してきた人が、県外ナンバーの車に乗っていることで「観光自粛なのに、何しに来たんだ」と言われた。
- ・SNSに「感染源の店」「コロナ患者が働いている」などの書き込みがされる。
- ・「あそこで感染者が出た！」という間違ったうわさが拡散し売り上げが減少した。

ちいき
地域で一番の感染者にな
りたくないよね！って

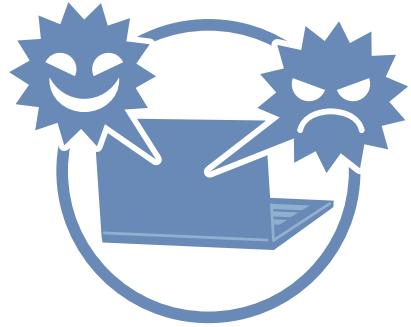
みんなそう思ふんだ ...
おも
たいぢょう わる
体調が悪いけど会社(学校)を休めないな ...



だれ
誰もが感染する病気だから、感染者を責めるよりも、早く
かいふく
回復してもらって、帰ったときに温かく迎え入れられる地
域になれば安心して暮らせるのに ...

インターネット上では ...

- ・「どこに住んでいるか」「どこに勤めているか」など感染者探し^すが行われる。
- ・感染者の個人名や住所、SNS のアカウント名を投稿される。
- ・「死ねばいいのに」「バイオテロリスト」など感染者を誹謗中傷^{つと}する投稿^しが行われる。
- ・退院した患者が自殺^{じ さつ}したと事実ではないわざが SNS 上で拡散^{じ じつ}した。



なぜ

SNS などインターネット上で誹謗中傷や差別が起こるのか

SNS などインターネット上では、自分の顔や名前も晒す必要もなければ、相手の顔もわかりません。「自分は正義なんだ。」と間違った思い込みで、傷つく人・悩む人のことを考えずに勢いで行動してしまいます。

また、同じような偏った考え方をもつ人が、集まる傾向もあり、目に見えない相手を攻撃してしまいます。何の根拠もない不確かな情報・偏った考え方であっても、思い込みで拡散してしまうことがあります、特定の人への誹謗中傷へつながっていきます。

差別をうけた人とその家族はどんな気持ちなのかな ...

コロナに感染することよりも、
差別や偏見の方が恐いなあ ...



本当に全員がマスクを必ず着けないとダメなの？

皆さん気が知っている通り、マスクの着用には感染の「予防」と「拡散の防止」両方の効果があるとされています。そのこともあり、マスクをしていない人を見つけるなり、怒鳴りつけたり、嫌がらせをしたりと過剰に着用を押し付ける方がいます。

しかし、私たちの社会には、『マスクを着けられない人』がいます。感覚過敏を伴う一部の発達障がいがある方は、マスクの着用が困難です。また、付き添いの人がマスクを着け、表情が分からないと不安でパニックを起こす人もいます。認知症やうつ病の人においても感覚過敏の症例はありますし、気温が高いときは熱中症のリスクもあります。あなたが見かけたマスクをしていない人、その人は、もしかすると着けられ理由があるのかもしれません。

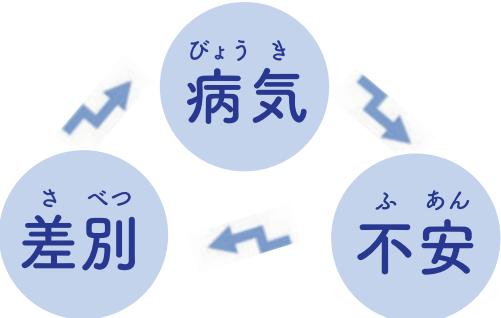
マスクをしていない人は感染対策をしていない自分勝手な人と決めつけていないかな ...



かんせん よぼう さべつ へんけん 感染を予防すること＝差別や偏見ではありません

じぶん かんせん よぼう き けつ さべつ へんけん わる
自分が感染しないように、予防する(気をつける)ことは、決して差別や偏見につながる悪
いことではありません。自分や自分の身近な人を守ることはもちろん、医療機関がひっ迫し
ているなか感染者を出さないことは、今も必死に頑張る医療従事者の皆さんと共に闘ってい
ることにつながります。しかし、過度に不安や恐怖が大きくなることにより、差別や偏見が
生まれ「人の手(言動)」によって、どんどん大きくなっていきます。そして、大きくなったり
「差別や偏見が生んだ恐怖」は、「もし自分が陽性だったらどうしよう...」「体調が悪いけど
我慢しようかな」などと「差別されるかもしれない恐怖」となって自分たちをさらに苦しめ、感
染を拡大させてしまうことになります。

ほんらい わたし たたか しんがた
本来、私たちが闘うべきは、新型コロナウイルス



『**負**』の
スパイナル



●「和歌山県新型コロナウイルス感染症に係る誹謗中傷等対策に関する条例」が
令和2年12月24日に施行されました。

●和歌山県や新宮市でも、インターネット上の誤った認識による差別、誹謗中傷
に関する投稿はモニタリングを行っており、悪質な投稿については、適切な
対応をしています。

じんけんそうだんまどぐち 人権相談窓口

□みんなの人権 110番

電話 : 0570-003-110

□コロナ差別相談ダイヤル
(和歌山県人権政策課)

電話 : 073-441-2563

□新宮市人権政策課

電話 : 0735-23-3359

はっこう しんぐう し じんけんきょういくくすいしん い いんかい
発行 : 新宮市人権教育推進委員会

(新宮市教育委員会生涯学習課内 0735-23-3367)

